

学習状況調査から

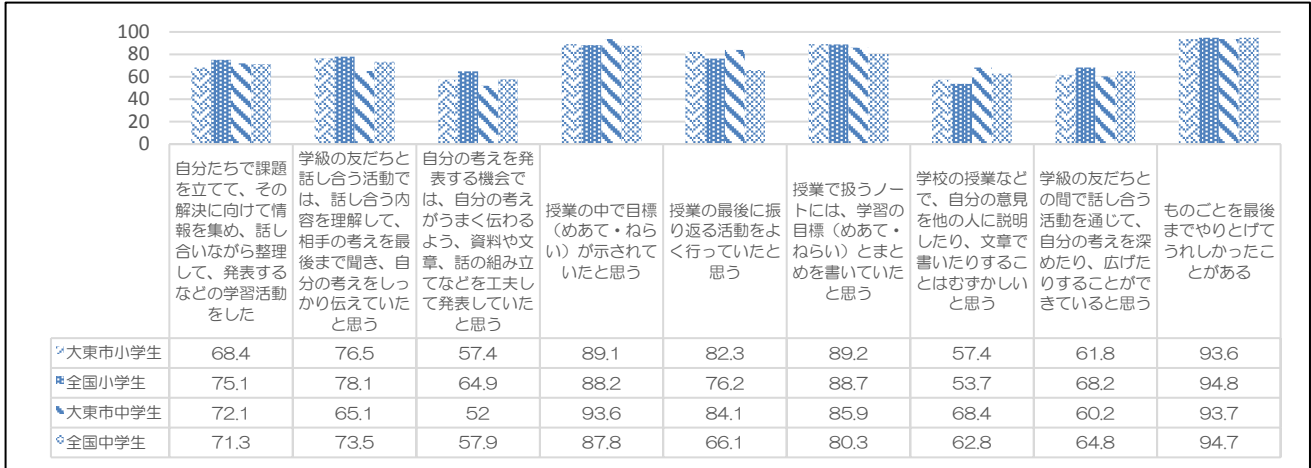
大東市教育委員会では、大東市教育大綱及び大東市教育ビジョン後期基本計画の「大東のめざす子ども像」に向けて、授業改善に取り組んでいます。



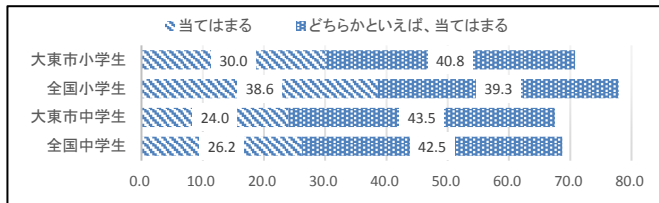
授業改善の成果と課題について

下の表は今年度の小・中学校における「授業改善」関連のアンケートを全国と比較したものです。児童・生徒が学習の見通しをもてるようにめあて・ねらいを示すこと、学習内容の定着を図るために最後に振り返る活動をするのは、小・中学校とも全国を超えており、成果であるといえます。一方、「話し合う活動」については、改善の傾向にあるものの、活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることや、自分の考えがうまく伝わるように工夫すること等に課題が見られますので、今後一層の授業改善が必要です。

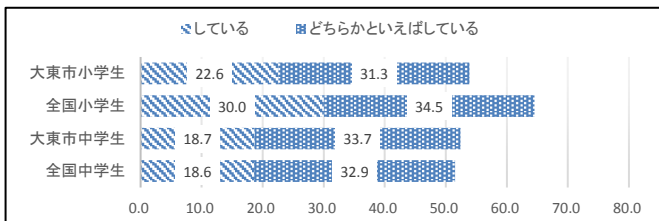
<「授業改善」関連質問紙調査結果> 下記の棒グラフは左から、大東小学生→全国小学生→大東中学生→全国中学生の順



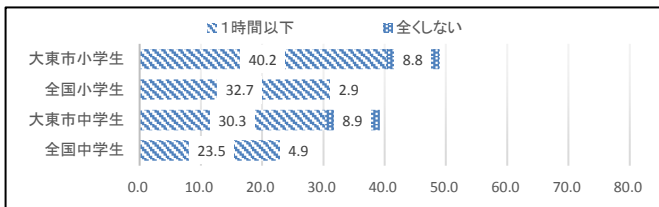
資料1 〈自尊感情：自分にはよいところがあると思う〉



資料2 〈家で、自分で計画を立てて勉強している〉



資料3 〈月～金曜日、授業以外での1日あたりの勉強時間〉



資料4 〈スマートフォン等の使用時間と平均正答率の関係〉

回答	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
3時間以上	66.6	46.1	67.5	32.9	69.4	59.7	51.4	36.0
1～3時間	67.9	50.0	71.5	35.5	74.5	66.3	61.0	42.8
1時間より少ない	72.9	55.2	78.9	45.6	78.2	73.0	68.0	48.5

資料1の自尊感情は、全国よりもやや低い傾向ですが、年々高まっています。学校生活と合わせて、家庭や地域の関わりも大きく影響していると考えられます。引き続き、子どもの良いところを認め、ほめて伸ばすことが大切です。

資料2については、小・中学生ともこれまでの調査において最も高い数値でした。しっかりと計画を立て、意欲的に進んで学習に取り組むことはとても大切なことです。

また、1日あたり1時間以上勉強する小・中学生は、年々着実に増えていますが、一方で、資料3のように、勉強時間が1時間以下の小・中学生は、全国に比べて多い傾向が見られます。家庭学習の時間が大変短く、ゲームや携帯電話・スマートフォン等を長時間使用する小・中学生が多いことは大きな課題です。

資料4からも、これらの使用時間と学力との間には関係が見て取れます。あらためて、使用について家庭でのルールを見直し、有意義な時間の使い方やスケジュールの管理等を、子どもと一緒に考える必要があります。